

暑中お見舞い申し上げます 梅雨が明けると、途端にカンカン照り、東京都知事選挙がかすむほど、人の命が奪われる衝撃的な出来事がひっきりなしに報道されます。命が軽んじられる時代に突入しているようです。歯車が狂っているようです。暑さ対策をしっかりとやって、土用を乗り切りましょう

●第3回親子で遊ぼう学ぼう魚とり総勢 60人 梅雨最後の雨が降る 23日 スタッフ 13人

9時20分には大方のご参加がありました。参加申し込みは約100人となりかなり大変な状況になると予想されました。前日に会場の普賢寺川の下見をすると、一週間前には大人の腰あたりまでの水流がありましたが、すっかり水がなくなっていました。100人も殺到されたどうなることかと心配しました。ところが13組の欠席で、前回17日程度の規模になりました。しかしお二人以外は無断欠席でした。随分気をもみましたが、結果としては適正な規模となり、取り越し苦労でした。ところどころに、水たまりができていて、逃げ切れなかった小魚がいっぱい泳いでいます。取り放題でした。入れ食いということでしょうか。参加者全員、魚とりができました。プログラムでは休憩を挟んで前後二回の魚とりを予定していました。熱中症対策として一息入れる計画です。魚とりに夢中になって、予定休憩をとることは難しいことが分かり、約1時間弱として、休憩時間を取らずの進行を試しました。持参の水筒を使って水分補給を行っていただいているようです。何とか無事故で魚とりが進みました。オオナマズの捕獲を経験豊かな子供たちに依頼すると、全長66cmと63cmの獲物を捕獲してきました。この日の魚種は30種でした。前は20種の捕獲でしたので、随分と種類の多い楽しい魚とりになりました。集約すると全体で185匹の捕獲ができました。

●近畿水環境交流会 23日 午後15時から 琵琶湖を拠点に活動されている多くの団体が活動発表に参加されていました。おなじみのレンジャー活動の顔ぶれもあり、摂南大学生たちの顔もそろって、にぎやかでした。基調講演として滋賀県立大学の井手教授による琵琶湖総合開発計画の功罪について詳しい講演があり、上下流住民の相互理解の必要性が強調されていたようです。引き続き市民団体の発言があり、里山の会は2015年度の十大ニュースを紹介しました。竹蛇籠の講習会とその設置、そしてその影響や効果を伝えました。

●里山農園の運営について ササユリ問題で明け暮れた今年度でしたが、夏野菜のキュウリやトマト、ナスビも最盛期を過ぎ、収穫の時期も終わりに近づきつつあります。まもなく冬野菜の準備を始めなければなりません。農園担当者の皆さんの意見を集約すると、こまめな手入れが行き届かず、このままだと農園全体を使つての作付計画はとても無理ではないかということでした。従って余り無理をしないで、可能な範囲・1号地2号地をしっかりと管理することから始めることになり、原点に戻って里山農園を守ることにしました。お盆を過ぎると、いよいよ種まきとなります。事前の耕作予定地の整地準備にも取り掛からなければなりません。今植わっている所の片付けも始めなければなりません。「土用」を過ぎると雑草は、さらに強く大きくなりますので、その前の草刈りも必要です。暑さに負けるわけにはいきません。頑張って汗を流さなくてはなりません。朝飯前の作業が急所です。多くの皆さんのお手伝いを大いに期待をしています。

●県外現地視察 8月9日出発 愛知県愛知郡美浜町布土公園 名古屋市平和公園里山の家 今年は愛知県美浜町を訪ねることになりました。布土という地をお尋ねします。ここは磨き砂を大量に算出して港から積み出していたとお聞きします。馬の列ができていたとのこと、そして土を産出したトンネルの崩壊事故で、多数の犠牲者が出たという所だそうです。ここを地域遺産として公

園化されて大切に保存されているようです。実は里山農園の奥にも、磨き砂を産出していた洞窟が確認されています。水取地区の人々のお話にもよく出てきます。美浜町をお尋ねして、村の歴史の一環として扱えないものか、一度現地を訪問してみようということになりました。現在 10 名の参加申し出があります。もう少し余裕があります。ご参加ください、お待ちしております。

●**団地の朝市 24 日（日）午前 8 時から 30 分で完売** 夏野菜の最盛期から第 2、第 4 日曜日に朝市の開催となりました。7 月 24 日は曇り空で、良い条件に恵まれました。毎度おなじみの生産者・販売者が顔を揃えました。しっかりした野菜が並べられました。なんと 30 分で完売です。少し市場では値段が上がり始めてきているようなので、大勢の方々がご参集されたようです。しかし里山農園では次回には人気のトマトは品切れとなるのではないかと心配です。大村、森島、芳川、深田、沢栄さんが精を出していただきました。ごくろうさまでした。

●**6 月末の会費納入状況 90 人分が納入** 里山の会の最も重要な財源は、なんといっても会費収入です。ところが近頃その納入率が低下をしてくれています。昨年の 6 月比較で見ると今年は 60% です。毎月の事務所の維持経費は 6 万円程度が必要で、年間 72 万円となります。ここを賄えないと年間活動を維持できなくなります。会費によって賄えないと落ち着いてイベントを展開できなくなります。年間最低 100 万円の安定財源の確保が必要です。500 人会員の組織化がベースなのです。現在会員数が減少傾向なので、この傾向を脱却しないと、まもなく閉鎖し解散に追い込まれます。会費納入と同時に会員増やしに皆様のご協力をお願いいたします。

●**河川協力団体との共同作業の申し入れについて 21 日** 淀川河川事務所環境課 昨年度淀川河川事務所から河川協力団体への登録申請の働きかけを受けて、河川協力団体となりました。約半年が経過しましたが、まったく具体的な動きは見られませんので、実情を聞きに環境課を伺いました。そこで、木津川での①希少植物の維持管理 25 か所について、②15,000 平方メートルの草刈り、③堤防に休憩用ベンチ設置の場所づくり、④河川美化として橋下の有料利用、などについて提案申し入れを伝えました。なかなか具体的な返答はありませんでしたが、里山の会としての提案を行いました。

● 木津川河川レンジャーによる木津川市役所のロビー展示について 8 月 2・3・4 日

木津川市が実施する夏祭り（花火大会）への協力として木津川についての展示物で協力を行ってきました。初年度は開橋で子供たちに筏遊びなどを取り組みましたが、暑さと体力の関係から室内での協力になりました。竹蛇籠や観察会の様子をお知らせいたします。ご覧ください

● 魚とり 8 月 7 日分には少し余裕があります

大至急ご応募ください 往復はがきでの受付です。

● 8 月 6 日（土）例年通り燕のねぐら入り観察会を実施します。

17 時近鉄向島駅改札口集合です。夕日が落ちて 15 分くらいが最盛期と言われています。